

# ざいたく 在宅の風

～在宅医療の新しいかたち～

# 7月



ご自由にお持ちください

平成28年7月発行

第32号

梅雨明けが待ち遠しい今日この頃、皆様お元気にお過ごしでしょうか。弊院では、些細なことでも気軽に相談できるホームドクターとして、在宅医療・看護・訪問マッサージを提供させていただいております。ご意見・ご相談をいただきながら、『患者様によりやさしい医療』をめざしていく所存です。



## ★医事課新入職員のご紹介★

【奈良 帆摘(なら ほづみ)】4月より事務として働かせていただくことになりました。2年間専門学校で医療事務の勉強をしておりました。精一杯頑張りますので、宜しくお願いいたします。

【高橋 亜貴(たかはし あこ)】4月より入職し3ヶ月間、東京で研修をしてきました。早く一人前になり頼られる事務員になれるように頑張りますので宜しくお願いいたします。

## 訪問マッサージのご案内

～北村山在宅診療所附属 DMS マッサージ治療室～

北村山在宅診療所の訪問診療を受けている方で、医療保険適用での訪問マッサージをご利用いただいている方が大勢いらっしゃいます。

体の痛みで悩んでいた、寝ている時間が長く関節が動きにくくなってしまった、筋力が落ち歩くのが大変になってしまった…など様々な身体面での不調に対し、国家資格を有するマッサージ師が医師の指示のもとでご自宅を訪問し、プロの目線でアプローチを考え、施術効果による身体機能の維持回復を実施するものであります。

上記のような症状でお悩みの方は、お気軽にご相談くださいませ。

※一回の施術時間は約30分程度、施術料金は症状にもよりますが、1割負担の方で約500円～700円程度となります。

ご不明な点がございましたら、北村山在宅診療所までお問い合わせください。  
(代行して電話対応をしております。)



## 在宅医療のかたち ～前号より

事例② ～Part①～

91歳の男性Bさん

以前、この広報誌でも掲載させていただきましたが、職員の家族も訪問させていただいていたことがあります。山形県出身で、東京の本部で働く職員だったのですが、実家の両親から彼に「おじいちゃんのご飯食べられなくて…」と相談があり、その経緯で当院に夜中に連絡が入り、急遽訪問しました。

5年前に大きな病院で胃がんが見つかり3分の2を切除し、その後は状態が落ち着き家で生活をしていました。最近になりデイサービスで嘔吐・腹痛があり、病院を受診したところ胃がんの再発と食道・肺への転移が見つかったのだそうです。

高齢でもあり、本人も「どうせ死ぬなら家がいいなあ」と希望があり自宅で過ごしていたものの、家族としては食事が摂れない事はやはり心配で困っていたそうです。

まず出来ることとして、末梢からの点滴を開始し訪問に行きましたが、末梢からの点滴は高齢者や体が弱っている場合、針が刺さりにくくなることや、点滴中に血管から漏れてしまうこともあります。ご家族と相談をし、食事が摂れないが、末梢の点滴に限りがあることも説明し、いくつかの選択肢を提示しました。この時すでに点滴は開始していましたが、胃がんの再発、そして転移という診断を受け入れており、積極的な栄養管理として経鼻栄養や胃瘻などの手段は選択肢として外れていました。家族で話し合っただき、点滴ができる状態をできるだけ長く続けるために、末梢点滴という方法ではなく、中心静脈栄養(手術が必要になり1～2泊病院に入院しなければいけないが、CVポートという点滴の為の装置を埋め込み、それを使用し点滴をする)という選択肢を希望され、当院からそれをお願いできる医療機関を紹介、造設していただき、また自宅での生活を開始しました。

～次号へ続く～

発行：医療法人社団伍光会 北村山在宅診療所  
〒999-3702 東根市温泉町二丁目5番3号  
TEL:0237-41-0583 FAX:0237-41-0584  
<http://www.denenchoufuin.net/Kitamura-yama/>